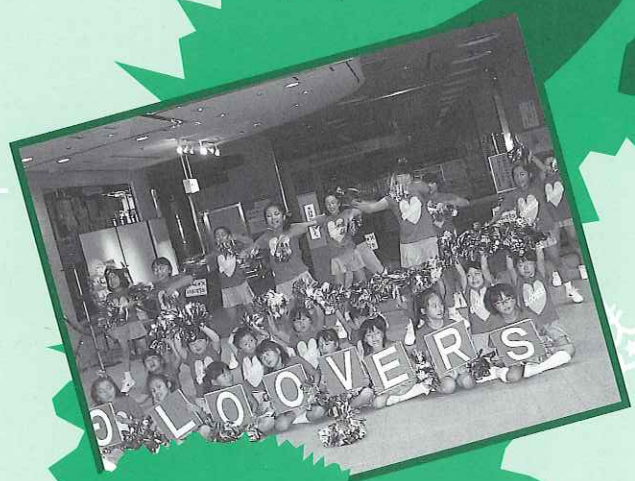


山形県男女共同参画センター

CHERIA チエリア

vol. 38
2013.Winter



Contents!

▶特集1

- チエリアフェスティバル山形2013
— あなたとわたしが輝く未来への一歩 —
- 平成25年度山形県男女共同参画
社会づくり功労者等 知事表彰式
- 記念講演会 細谷亮太氏

▶特集2

- あいおいニッセイ同和損害保険(株)より車の寄贈
- 館長のナツク対談

▶男女共同参画地域講座 — 3地域で行われた講座のご紹介 —

▶チエリアの仲間になりませんか? チエリア登録団体紹介

▶チエリア・インフォメーション

チェリアフェスティバル山形 2013 ~ あなたと



平成25年度
山形県男女共同参画社会つくり
功労者等知事表彰式及び活動内容発表表
【詳しくは4頁】

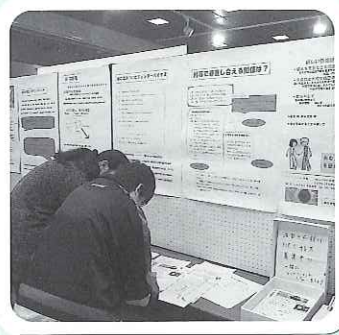
知事表彰



館内で手作り作品やお茶席を用意しました。

ふれあいコーナー

12団体



展示発表

10団体

1階ギャラリースペースで展示しました。



平成25年度山形県男女共同参画社会つくり功労者等知事表彰



いつ子になってほしい」と願いながら育てたという思いから出てきた言葉だと思えます。女性に子どもを産んでもらうたら、男性も子育てに参画しないといけないんですよ。

先人たちが考えた「そだてる」とは

「育てる」は、鍋蓋に「ム」と書きます。これは、子どもを逆にしてしている象形文字なので、あまり良い子じゃない悪い子という意味。下の「月」は「肉」という字を書くと「正しい漢字です。「悪い子を養育して良いほうに導く」というような意味で「育」という字が作られています。でも、日本民族の子育て観はそうした意味ではなく「子どもはすくすくと大きくなしてほしい」というのが、祖先の考えた「そだてる」だったと思います。

平安時代に見る女性の地位

平安時代の貴族社会では宮中などで働く女性の地位が結構高く、文化的にも貴族の男性と同等に渡り合っていたと考えられます。紫式部、清少納言のように、平安時代に立派な文学を確立している女性がいたことからわかります。でも、政治や経済面では男が漢文を使い、貴族の日記を書いたりしていました。全部漢字を使用していたので女性が使う平仮名は極々特殊なところで使われる文字でしたが、男性では唯一、紀貫之が女になりますまして平仮名で日記を書いたということになりました。

「女大学」が変えてしまった女性の立場

女性の地位が低くなったのは江戸時代から。「女大学」という本が作られ、「旦那の言うことを聞かないといけない」「子どもを産まない女の人は離婚されるべき」という話を作った人がいたのです。明治初期に「女子と男子と同権なり。ゆえ

に男子が国の長となるべき権利があるならば女子にもまたある。男子一家の主となるべき権利があれば女子にもまたこれあり。」と言った人がいました。そうした意見は非常に少数でした。明治32年頃に、「女大学」を非難したのが福沢諭吉ですね。軍隊、企業という世の中で男社会が形成されていき、女性の立場についてあまり顧みられないまま、時は過ぎてしまったのです。

「働きたい」意欲と企業の心構え

1歳というのは重要な年齢ですから、少なくとも産後1年は休めるように人員体制を考えていく必要があると思います。仕事をしたいという強い意欲を持つて復帰した場合には勤務時間の短縮や保育園の整備等、働ける環境を作っていくなければなりません。出産の時期は社会的な関わりから少し遠のいてしまいます。育休が長すぎると、仕事によっては復帰できなくなることもあります。企業側は復帰した時に対応できるように、心構えを育休前に教えておくべきです。

男女共同参画のためには、やり遂げたという満足感で一生を終えることが重要です。達成感を持ってほしいものです。



記念講演
小宮山先生が考える「NPOと男と女」
講師 小宮山 誠
NPO法人 山形県男女共同参画推進センター

祝
受賞おめでとうございます！

チャレンジ賞

鶴岡男女共同参画グループ「さんかく」 〔鶴岡市〕

〈活動内容〉

一人ひとりの個性や能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の形成を目指し、男女共同参画に係る啓発活動を行うことを目的に市民団体を設立。

農家の方から会社員まで、ごく普通の若者が集まり、身近な問題や気づきをもとに、短期間の間に数々のイベントや講座を企画。「男性のための妊活講座」など、女性に偏ったものではなく、男女ともに幸せになるための事業となっており、若い世代からも共感を得ている。

〈経歴〉

平成22年 鶴岡男女共同参画グループ「さんかく」発足

受賞のことは

代表 難波玲子さん

チャレンジ賞を励みに、前向きに、そして楽しむ気持ちを忘れずにチャレンジを続けていきます。



男女ともに助け合い、お互いを尊重し、それぞれが持てる力を発揮して、地域社会がより元気になっていく事を目指してがんばります。

チャレンジ賞

ふるさと活性化グループ「やまぶどうの会」 〔庄内町〕

〈活動内容〉

閉鎖していた山荘の食堂をレストランとしてオープンさせ、地元の食材を使って、郷土料理を提供し、登山客や地元の人からも好評を得ている。女性の生きがいづくりや雇用の場の創出と同時に、当該レストランの人気により観光客が増加し、地域活性化につながっている。

〈経歴〉

平成22年 主婦レストラン「やまぶどう」オープン
平成24年 任意団体ふるさと活性化グループ「やまぶどうの会」発足

受賞のことは

相談役 押切のり子さん 代表 兼古哲也さん

少子化が拡大している現状にあって、女性の社会参画を、広く推進していかなければ地域の活性は望めない時代になったと思います。そんな中、「チャレンジ賞」をいただいた事を励みにして、「やまぶどう」のスタッフ一同より、心一つにしてお客様が「ただいま」と、ふる里がえりの気持ちでお出でいただけるそんな宿を目指し、「やまぶどう」を基点として、地域の方々と一緒になって頑張っていきたいと思っています。



功労者賞

多年にわたり男女共同参画社会づくりに特に顕著な功績のあった個人・団体を山形県知事が表彰している賞です。

特定非営利活動法人 サポート唯^{ゆい} (山形市) 〈活動内容〉

さまざまな女性特有の悩みや課題を解決するために、任意団体を設立。以来DV被害者支援やひとり親家族への支援、男女共同参画の普及啓発などを実施。

DV被害者支援・被害防止では、電話や面接相談、寸劇によるDV防止セミナーを行うなど、民間団体として先駆的な取組みを行う。近年は、高校生対象のデートDVアンケートや大学生対象のワークショップを行い、若年層へのデートDV予防の啓発にも力を入れる。

また、女性の視点からの食や農の安全・食育に関する講座、防災ワークショップや政策提言のための女性議員との交流会の実施等、男女共同参画社会づくりの実現に向け、幅広く活発な活動を行っている。

〈経歴〉 平成14年 任意団体サポート唯を設立
平成16年 NPO法人認証取得

受賞のことは

代表 鹿野順子さん

受賞は会員の想いと多くの方のご指導と支えの結果と感謝申し上げます。改めて男女共同参画の推進を基本に頑張ることを再確認いたしました。すぐ結果が出ない課題ばかりですが、新たな気持ちで取り組む所存です。



チャレンジ賞

仕事や地域活動など様々な分野でチャレンジし活躍している個人・団体を山形県知事が表彰している賞です。

佐藤奈津紀さん (真室川町)

〈活動内容〉

他県から結婚により移住し、専業主婦として子育てする傍ら絵本制作に取組み、多数の絵本コンクールでの受賞をはたす。さらに、絵本読み聞かせサークルを立ち上げ、会員・学校・地域と連携しながら、学校の統廃合により薄れていく地域コミュニティを再生させるため、子ども達と地域をつなぐ物語を制作し、DVD化する。これが、第61回自作視聴覚教材コンクール山形県大会社会教育部門最優秀賞を受賞するなど、高い評価を得ている。

また、この物語から子どもと地域住民による「駅的环境整備活動」に発展し、新たな地域活動のきっかけとなるなど、子育て支援にとどまらず、地域の発展に貢献する取組みを行っている。

〈経歴〉

平成22年以降 各種の手作り絵本コンクールで受賞
平成23年 読み聞かせサークル「こだま」立ち上げ
平成23年 真室川町教育委員に就任

受賞のことは

佐藤奈津紀さん

この度はこのような素晴らしい賞をありがとうございます。子育てをしながら色々な活動をするのは難しいと思われがちですが、子育て真最中だからこそ感じることを活かした活動をこれからもしていきたいと思っております。



平成25年度山形県男女共同参画社会づくり功労者等
県知事表彰受賞者のご紹介！

あいおいニッセイ同和損害保険(株)山形支店より 車両を御寄贈いただきました!

山形県男女共同参画センター「チエリア」ではあいおいニッセイ同和損害保険(株)山形支店から、仕事に役立てて欲しいと、トヨタのウィッシュを寄贈いただきました。そして、11月28日、私たちのお礼を込めて、橋川弘山形支店長に感謝状を贈呈いたしました。その際に、橋川支店長と県男女共同参画センター館長の高木直が話をさせていただきました。

高木館長

今回は県内の数多くの団体等の中から、県の男女共同参画センター「チエリア」をお選びいただきありがとうございます。そのお選びいただいた理由をお聞きかせたい。

橋川支店長

当社ではこれまで、社員を中心とした社会貢献活動として「MS&ADゆにぞんスマイル倶楽部」が任意の募金を集め、それに会社がマッチングギフトとしてさらに上乗せをして医療・福祉・環境保護などに役立てようとしてきました。今回、山形支店では、当社が積極的に取り組んでおります「ダイバーシティを地域として推進するため、男女共同参画等を実践している団体などで、福祉車両を御活用いただける場所を探していました。そんな中で、山形県から県の男女共同参画センターという名前をいただきました。これは的確ではないかと選ばせていただいたことに感謝しております。

高木館長

「MS&ADゆにぞんスマイル倶楽部」の活動をもっと少いお聞かせください。

橋川支店長

「MS&ADゆにぞんスマイル倶楽部」は2001年頃に設立されたのですが、当社、それに関連事業会社の役員、一人ひとりが気軽に社会貢献に参加できる任意の募金制度です。趣旨に賛同する社員の寄付を毎月積み立てまして、それに会社も上乗せをします。その募金を地域に根ざした活動や地域に密着した貢献活動などに活用しております。これまでも消防車、車いす、ミニトセキなどの寄贈をいたしております。

高木館長

全社を挙げてダイバーシティの取り組みを積極的に実践しているのと同じやと聞いておりますが、山形支店ではどのように実践し、具体的な取り組みをなさっているのでしょうか。

橋川支店長

あいおいニッセイ損保では女性もチャレンジをする機会を与える取組みをしています。むしろ女性のほうが活



動的で自ら車を運転してお客様をまわるなど、どんどん活躍しています。女性のほうが基本を忠実にこなしますが、男性は先入観が先に来てなかなか進まないのが現状です。仕事も女性のほうが丁寧です。民間企業では成果が実績として現れ女性の活躍がわかります。特に、山形支店では「や姫」レディースキャンペーンとして女性社員が山形県内の代理店をまわり、お客様獲得の指導などを率先して取り組んでいます。お客様からも元気がでますと好評です。

高木館長

チエリアは男女共同参画のセンターオブセンタの役割を担っており、地域で活動団体や市町村などにも働きかけを行っています。今回寄贈いただきました福祉車両を多く活用させていただきます。県民一人ひとりが輝き元氣な山形県となるようがんばってきたいと思っております。本日はありがとうございました。



対談

なぜ今、ダイバーシティなのか

男女共同参画センター「チエリア」高木館長のナットク対談

最近よく耳にするこの言葉、「多様性」を意味します。では、企業におけるダイバーシティとは何でしょうか。ダイバーシティ推進室を置く、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社では、急速な環境変化の中、さまざまな考え方や価値観を持つ人材が必要であるとして、全社員が能力を發揮できる職場づくりを目指しています。同社ダイバーシティ推進室の方々を迎え、女性の活躍支援の取り組み状況や今後の課題について、高木館長と語りいただきました。

トップが女性活躍を推進

館長／まず、この業種では(ダイバーシティ推進室設置は)一般的なことですか？

室長／わりと一般的ですね。取り組みが進んだ理由は、合併前の組織がそれぞれ女性活躍の部署を持っていたことが一つ。もう一つは、保険金未払い問題をきっかけとして、多様な視点の必要性に気づいたことです。室長／そんな中、当社社長が女性活躍を推進しようとして、制度とキャリアモデルを作りました。今はそれを「社員一人ひとりに伝えていく」というストーリーに入っています。

館長／直接意味を解説して伝えていくことが大切ですね。室長／正社員万三千人のうち女性が約半分の数とすると、私人が出向くのは無理です。今後は、各本部のトップがダイバーシティや女性活躍を語っていく必要があると思います。

館長／ダイバーシティは、女性だけではなく、高齢者や障がいのある無など、誰にでも通用するようにという視点が大事ですから、企業内でも、すべての社員にわかりやすいということが大切だと思います。

室長／そうですね、外国人留学生を少しずつ採用していますが、彼らのケアも推進室で担当しています。また、介護休暇の取得も少ないので、力を入れていきたいです。

女性は手を挙げない

館長／さて、ポジティブアクションは、男性からすれば、女性を優遇しているように見えるのではないのでしょうか。室長／昇格するには、評価、推薦をして手挙げが必要なのですが、時期が来ると、女性も推薦するようお

願いにまわります。その時に、優遇していると思われるのではと感じることがあります。ですが、これまで与えられなかったチャンスや女性にも同様に与えてほしいという説明をしています。能力がなければ上がったと言われると本人も不幸です。そういった意味でも、能力のある女性を上げて、きちんとバックアップしていく必要があります。

館長／山形の女性は能力があっても、自分の過小評価や自信の無さから辞退することがよくあると聞いています。

室長／能力・人柄共に問題がなくても辞退し、手を挙げないということがよくあるので、面談時の丁寧な動機付けを上司にお願いしています。また、研修を通して、ポジティブになるきっかけ作りをしています。

女性管理職はどすれば増えるか
館長／会社がサポートしてくれるのは心強いですが、では、女性を管理職に登用していく上での課題は何でしょうか。

室長／まずはやはりお話しした手挙げです。次に経験。女性社員は異動があまりなく、多様な視点を持ちにくい。また、新しいことにチャレンジするのに完璧を求めたり「あの先輩を差し置いて」など周りの目を気にしたりpowerことがあります。

館長／あまり箱入りにせず、風にあたりいく必要があると思います。

室長／場を与えるということですね。風よけがあり過ぎると、チャレンジの邪魔になってしまいます。女性は一歩踏み出すことに慎重なので、上司がそっと背中を押してあげることも必要ですね。

館長／最後に女性たちへメッセージをお願ひいたします。

室長／まずやってみてください。やらない後悔よりやったら後悔。動き続けること決めたなら「一回やってみよう」と。館長／皆さん、夢や希望を持ち、決してあきらめなごいで、頑張ってくださいませ。



男女共同参画地域講座 2013

チェリアでは市町村の男女共同参画社会づくりを推進する活動団体・グループ等が行う講演会等の開催を支援しています。

庄内地域

(期日) 平成25年11月2日(土)
(会場) 鶴岡市出羽庄内国際村ホール
(内容) 講演

人生をENJOYしよう

～家庭人・職業人・地域人 三つの顔で人生を豊かに～

(講師) 厚生労働省 政策評価に関する有識者会議 委員
あつみ なおき
渥美由喜 氏

今年度の庄内地域講座は、鶴岡市出羽庄内国際村を会場に、厚生労働省政策評価に関する有識者会議委員の渥美由喜さんを迎えて開催しました。

今回の講演では、介護、子育て、地域活動、ワークライフバランスなど多方面において、ご自身の豊富な経験を基に、具体的な事例を挙げながらわかりやすくお話いただき、「ありがとう」という言葉の大切さや、仕事でも家庭でも「楽をする」のではなく「楽しむ」という姿勢が大事だと熱く語られました。

参加者からは、「今日の講演は自分の人生の一助になる」、「たった今から自分の生き方が変わっていく気がする」などの感想が寄せられ、渥美さんのお話に深い感銘を受け涙する参加者



もいました。また、若い世代や男性の参加も多く見受けられ、男女共同参画について考えるきっかけづくりになりました。

最上地域

(期日) 平成25年11月15日(金)
(会場) 舟形小学校 ランチルーム
(内容) 講演

パパの子育て・家族の子育て

～みんなで子育てを考えよう～

(講師) 神戸常盤大学教育学部こども教育学科 准教授
NPO法人ファザーリング・ジャパン 副代表
こざき やすひろ
小崎恭弘 氏

最上地域講座は、子育てについて考え、積極的に育児を行う男性を増やすために開催されました。

講師は保育士経験もあり、大学の准教授やNPO法人ファザーリング・ジャパンの副代表を務め、TV出演や『ひよこクラブ』への連載などに活躍する小崎恭弘さんです。冒頭、父親の育児参加が社会的にも求められていることを説明し、「父親の価値観を教える必要がある」「子育てには、母性の包み込むやさしさと父性の切る強さのバランスが重要」など、保育士経験やNPO活動の具体例を交えながら、分かりやすく、かつ楽しく語ってくれました。最後に、「子どもは思ったとおりには育たないけど、心配したようにも育たない」と話し、過度な心配は無用と教えてくれました。

参加者約100名のうち7割は男性で、新たなイクメン誕生につながる良い機会となりました。



置賜地域

(期日) 平成25年10月6日(日)
(会場) 南陽市中央公民館
(内容) 講演

私が輝き、町が輝く

～村上の町おこしの事例～

(講師) 味匠 蛭川取締役
きつかわ みき
吉川美貴 氏

『夫も子どももいて働きながら男女共同参画を実践している方』のお話をお聴きしたく、村上で夫の真嗣氏と町おこしをしながら家業をこなす吉川美貴氏に講演をお願いしました。行政に頼らず、身近にある物を利用し、資金は各種町おこしの賞の賞金を活用しています。『町屋の人形さま巡り』、『屏風まつり』等を企画から手がけられ、その町おこしで大切なのは、『もてなし・人との出会い』であること、参加店だけでなくお年寄りや子ども達まで観光客に接し、町全体が元気を失っていたが自信を回復して誇りが戻ったということでした。細身の美しい講師が更に眩しく輝き、神戸から嫁いで来て真の『村上人』になられた温かなお人柄を感じました。この日誕生の赤湯温泉のおかみ達考案の『えくぼ弁当』を食していただき南陽の『町おこし』も味わっていただきました。



会場は120名の聴衆の拍手で湧き、男女共同参画を身近に素敵に感じたひと時でした。

村山地域

(期日) 平成26年2月15日(土)
午後1時30分から
(会場) 天童市市民プラザ
(内容) 第1部 演劇/第2部 講演

天童市男女共同参画を進める市民の集い

(第1部 演劇) 山形県立天童高等学校演劇部
(第2部 講師) むかい まさお
医師 向井万起男 氏

〈開催予定〉



チェリアの仲間になりませんか?

CHERIA 登録団体紹介!

チェリアでは団体・グループ登録制度を設けています。随時受付中/詳しくはチェリアまで!

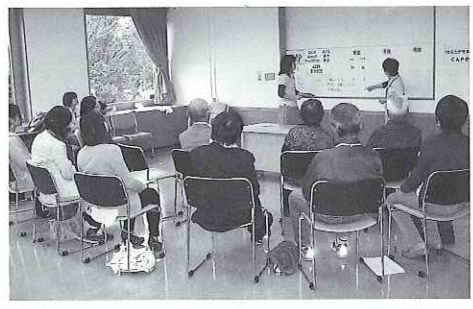
CAPやまがた ～子どもたちを身近な危険から守るために～

CAPやまがたは、子どもが暴力の被害者や加害者にならないように、子どもたちやその周りの大人たちに学校や公民館などでCAPプログラムを提供しています。平成10年度に設立以来「安心」、「自信」、「自由」のCAPプログラムを届けたいと、メンバーが少ないながらも地道に活動を続けています。今まで約5千人にCAPプログラムを届けることができました。

子どもワークショップは就学前、小学生、中学生向けがあり、プログラムは年齢に応じた方法で行います。

大人ワークショップは親や教師をはじめとする子どもに関わるすべての大人を対象とした大切なプログラムです。保護者・地域の人向け、教師向けがあります。「話してくれてありがとう」、「あなたの言うことを信じるよ」、「あなたが悪いのではない」など子どもの権利を守るため、子どもを孤立させないために、大人に何ができるのかを考えていく大切なプログラムです。

出会った大人たちや、子どもたちの笑顔に励みに、山形の子供たちに笑顔が広がり、それを見守る大人たちの温かいまなざしが増えていくことを願っています。



お問い合わせ先 「CAPやまがた」

■代表者 山野和子(やまのかずこ)

■TEL 090-4884-9719

■Mail fochan020@nifty.com

■[http:// www.geocities.jp/ cap_yamagata/](http://www.geocities.jp/cap_yamagata/)

認定特定非営利活動法人 発達支援研究センター ～「共に生きよう!支えあって」～

私どもの団体は、昨年で設立から10年を迎え、「生涯発達支援」をミッションに、幼児から成人までの支援を行っています。支援を行うに当たっては、心理・福祉・教育等の専門スタッフがそれぞれの専門性を活かしつつ、分野を超えて協働的ネットワークのもとに包括的に支援を行います。

【主な活動】

1. 「心理相談室」幼児から成人までカウンセリング及び心理的検査を行います。

2. 「不登校児・ひきこもり若者自立支援事業」

①不登校・ひきこもりの若者の家庭訪問・来所相談

②「フリースペース雨やどり」

(ひきこもり、発達障がい等の当事者の居場所)の運営

③家族の会「さくらの会」の開催

3. 「ワクワクひろば・ワクワクひろば泉」

発達障がいの幼児・小学生への療育を行います。

4. 「やまがた若者サポートステーション」

15歳～39歳までの若年無業者の方へ就労や就学に関する相談支援を行います。

5. 「研修・啓発事業」動作法や発達障がい等に関する研修会を開催しています。



お問い合わせ先

「認定特定非営利活動法人 発達支援研究センター」 ■代表者 高橋信子(たかはしのぶこ)

■〒990-0035 山形市小荷駄町2-7

■TEL・FAX 023-623-6622

■<http://cdss.jp/>

「ワクワクひろば泉」 ■〒990-0068 山形市泉町5-20

■TEL・FAX 023-622-8912

レポート

楽しい企画がいっぱい!

交流事業『チェリアdeカフェ』

毎月第2水曜日に開催している「チェリアdeカフェ」。10時～15時の間、自由に入出りOK!お茶を飲みながら楽しくおしゃべりしたり、学んだりする交流の場です。「チェリアdeカフェ実行委員会」が毎回、多彩な企画でみなさんの参加をお待ちしています。託児室やベビーベッドもありますので、お子様連れの参加もOKです。

第87回 チェリアdeカフェ『文房具の話 PartⅡ ～いまさら聞けない慶弔マナー～』

11月13日(水)、チェリア団体・グループ活動室で、第87回チェリアdeカフェが開催されました。20代から70代迄の幅広い年代の方々、16名の参加で、なごやかな雰囲気の中、三益堂(山形市)の齋藤正凱(まさよし)さんを招いて、文房具の楽しいお話と慶弔マナーのためになるお話をお聞きしました。

日頃よく使うボールペンのお話では、最初に作ったのはフランス人で、より滑らかに書けるように工夫されてきたこと、NASAが宇宙に行く時に開発した“上を向いても濡れても書けるボールペン”もあるということなど興味深い話をたくさん聞くことができました。新しい文房具の紹介として針が紙でできていて“紙針のホッチキス”を見せてもらい「これ欲しいね～」などの声も上がっていました。



書道に使う墨のお話では、山形県産紅花入りの「紅花墨」というものもあり、原料についても詳しく教えていただきました。

慶弔マナーの話に入ると、のし袋の表書についての質問が次々と出ました。お茶を飲みながら疑問の解決ができ、おみやげもついて、お得なカフェとなりました。

この日は、更に山形市ごみ減量推進課の加藤さんより山形市のごみの現状と減量化への取り組みについてのお話があり、「雑がみの分別クイズ」に答えながらごみの減らし方出し方等についても教わりました。



***** (今後の予定) 1月 ▶ カイロプラクティック 2月 ▶ 山形のおひなさまのお話 *****

パープルリボンプロジェクト in YAMAGATA

11月12日(火)～25日(月)の期間、「女性に対する暴力をなくす運動」が全国で実施され、チェリアも暴力ゼロの願いをこめて、パープルリボンを結び暴力防止の啓発を行いました。

パープル色のリボンを身につけることで、「暴力のない世界にしたい」という気持ちや、被害者に対する理解・支援を意思表示するための運動です。

期間中、遊学館2Fギャラリーでパネルの展示と、パープルリボンバッチの配布を行いDV防止啓発の取り組みを行いました。



図書貸し出しています!

チェリア図書資料コーナーには、男女共同参画に関するさまざまなジャンルの図書・ビデオ(図書3895冊、ビデオ・DVD370本)があります。新刊も随時入ります。ぜひご利用下さい。

貸出	■ 図書	1回4冊まで …… 4週間
	■ ビデオ/DVD	1回3本まで …… 1週間

おすすめDVD



『映画 日本国憲法』
ジャン・ユンカーマン 監督作品



『アサーション <自己表現> トレーニング』
監修・指導 平木典子

編集後記

女性だけが頑張らず、男性だけに求めない、一緒に歩める社会でありますように。気になっていたダイバーシティ。“手を挙げよう”というお話が印象的でした。「チェリアdeカフェ」で楽しい体験をして身も心も活性化!みなさんもうぞぞ。

〔昌子〕
〔直子〕
〔安〕

山形県男女共同参画センター チェリア

〒990-0041 山形市緑町1-2-36 (遊学館 2階)
TEL 023-629-7751 FAX 023-629-7752
相談専用電話 023-629-8007
URL <http://www.yamagata-cheria.org/>
開館時間 午前9時～午後9時
休館日 毎週月曜日、毎月第3日曜、年末年始
平成25年12月発行
編集発行 ● (公財) 山形県生涯学習文化財団



【アクセス】

- JR山形駅から
バス 市役所経由路線バスで市役所前下車、徒歩5分
タクシー 約6分
徒歩 約25分
- 自動車
山形自動車道山形蔵王ICから約10分。県営駐車場をご利用ください。
(入館時に駐車券を遊学館1階の総合案内へお出しください。)
(ご利用時間に応じて駐車料金が割引になります。)